

清代までの漢籍における 《還城楽》の記述に関する一考察

上野 智子

はじめに

《還城楽》は、日本の舞楽の演目名としても、また唐楽の楽曲名としても夙に有名なものである。しかし、その起源に関しては、常に《見蛇楽》《還京楽》などの別名で説明されてきた。従来、『羯鼓録』における「還成楽」の記述の存在は指摘されてはいたものの、今日の諸事典の多くは上記の二つの楽名に拠っている。しかし、上野(2003)によって、『唐会要』巻33諸楽の條に「同昌還城楽」の記述のあることが報告され、中国唐代の同名曲の存在が確認された。そのほか、明代の『唐音癸籤』、清代の『統通志』にその記述を認めることができる。

本発表は、《還城楽》の起源を考えるために、これら4書の記述内容とそのコンテクストを文献的に明らかにし、それらの相互関係を考察することを目的とする。

1. 4書の成立時期

4書の成立時期は、『羯鼓録』が最も古く唐代大中年間、『唐会要』が次いで北宋代、『唐音癸籤』は明代、『統通志』は清代である。書物の成った時期は、『羯鼓録』が最も早期であるが、記述内容の時期が天宝13載と確定している『唐会要』の方が95年以上早い。つまり、内容的には『唐会要』→『羯鼓録』という順序である。他の2書の関係も単に成立年代の関係ではなく、引用という手法により相互に関連しあっているため、さらに詳細な検討を行なわねばならない。

2. 『唐会要』の記述とそのコンテクスト

『唐会要』の記述「同昌還城楽」のコンテクストとして最も重要な点は、この記述が、天宝13載の「太楽署供奉曲名及改諸楽名」の時であるということである。岸辺成雄は、これを俗楽二十八調の成立時期と断定して、従来の宋代の燕楽二十八調の調理論への前段階としている。これはつまり、新俗楽の成立時期とすべきいわゆる楽制改革である。そして、従来の日中の論楽者の誤謬を正している。この点は、玄宗代末期の社会文化的爛熟期とともに大きな意義がある。この年は、安史の乱の前年にあたる。非常に多くの楽曲を一気に宮廷のレパートリーに組み入れることとなった社会的状況などより、時の識者は世情を憂えた。《同昌還城楽》は、この最も豪奢と華麗を極めた文化状況のうちで流行した多くの楽舞の一つとして現れ、ついに国家行事の礼楽を掌る官署に編入されたのである。

3. 『羯鼓録』の記述内容とそのコンテクスト

大きく前後二録に分けられる。前録は、羯鼓の源流・形状に続き玄宗の故事が記述され、後録は崔鉉・宋璟の知音事について記述され、最後に附録として羯鼓を使用する楽曲名が付け加えられている。ただし、ここでの記述は「還成楽」である。徳川光圀修の『大日本史』禮楽十五によれば、《還城楽》と《還成楽》は同一のものであるとしている。また、小川守中も『歌舞品目』の《還城楽》の割注でこの点に触れている。単に「つちへん」の欠落という理由だけでなく、他の理由による誤写の可能性も高く、次節の『唐音癸籤』との関係も考え合わせると、従来どおり、『羯鼓録』の「還成楽」は《還城楽》とみなして差し支えないと考える。本書は標題通り羯鼓を使用する楽曲に関する書であるので、《還城楽》は、羯鼓を使用した楽曲であることがわかる。俗楽ではなくとも西域楽系であったと推測できる。

4. 『唐音癸籤』の記述内容とそのコンテクスト

「樂通三」は、楽器ごとにその楽曲名が羅列列挙されている部分の「羯鼓曲」の條に《還城楽》の記述はある。その内容は、ほぼ『羯鼓録』の附録部分と同一である。『羯鼓録』は「還成楽」、『唐音癸籤』は「還城楽」と記述の相違があり注意を要するところであるが、まず『羯鼓録』からの引用とみて差し支えないと考える。

5. 『統通志』の記述内容とそのコンテクスト

「樂畧一」の「唐樂署供奉二百二十六曲」の條に《同昌還城楽》の記述がある。供奉の時期は記されていないものの「供奉曲」である点、調毎の分類記載であり、ほぼすべてが同様の楽曲の記述である点、「同昌」の語が冠せられている点の3点により、『唐会要』当該記述からの引用であるといえる。全体が『統通志』は主に正史によっていることにより、この引用説に矛盾はないと考える。

まとめ

《還城楽》の起源を遡る上で、従来の『羯鼓録』よりも『唐会要』の方が古いといえる。また、これら4書の関係は、『唐音癸籤』は『羯鼓録』を引用し、『統通志』は『唐会要』を引用しているこということができる。

つまり、《還城楽》の起源を考える上では、最も古く社会制度的観点より『唐会要』の記述が重要であり、楽曲としての《還城楽》を考えるうえにおいては、『羯鼓録』の記述が重要である。『唐音癸籤』『統通志』は、後世の引用書である。また、『唐会要』と『羯鼓録』の記述のうちの「同昌」の語の有無、『羯鼓録』と『唐音癸籤』の記述文字の相違については、今後の課題である